

所内研究報告第57号

2015年3月31日

国立社会保障・人口問題研究所 2014～2016 年度人口問題プロジェクト研究

長寿化・高齢化の総合的分析及び
それらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす
人口学的影響に関する研究

— 第1報告書 —

まえがき

わが国の平均寿命は 20 世紀後半に著しい伸長を遂げ、2013 年には男性 80.21 年、女性 86.61 年と、世界有数の長寿国となった。「日本の将来推計人口（平成 24 年 1 月推計）」によれば、平均寿命は 2060 年には男性 84.19 年、女性 90.93 年（死亡中位仮定）に達すると推計されている。また、長寿化と同様、わが国の高齢化についてもその水準と進行速度は世界的に注目をされている。高齢化の水準として一般的な指標である総人口に占める 65 歳以上人口の割合をみると、1970 年に 7%を超えてから急速に上昇しており、2013 年の 25.1%から 2060 年には 39.9%に達すると推計（出生中位・死亡中位）されている。このように、わが国は世界の中でも最も高齢化の進展が速い国の一つである。

このような、世界にも類を見ない長寿化・高齢化の進展について、そのメカニズムと背景、また、これらが日本社会に与える影響を的確に捉えるためには、死亡データベースの構築とそれに基づいた人口学的分析を中心としつつ、社会・経済面や医学・生物学的視点などに基づく学際的アプローチが不可欠である。また、寿命に大きく影響を与え、生存のクオリティ（QOL）の大きな要素である健康、ならびに社会保障を中心とした経済社会構造に及ぼすインパクトについても分析を行う必要がある。

こうした状況の中、本研究所では先行となる研究プロジェクト「わが国の長寿化の要因と社会・経済に与える影響に関する人口学的研究」（平成 23～25 年度）において、わが国の長寿化に焦点を当て、わが国初の試みである「日本版死亡データベース（Japanese Mortality Database、以下 JMD）」の開発を中心としながら、人口学的・学際的分析を進めてきた。本研究プロジェクトは、この先行プロジェクトの成果をさらに発展させ、長寿化・高齢化に関して総合的に分析するとともに、それらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関して研究することを目的とするものである。

本研究プロジェクトは主に、①データベース（JMD）の拡充・発展、②健康・長寿・高齢化に関する人口学的分析、③長寿化・高齢化の総合的分析、④長寿化・高齢化の社会保障等に対する人口学的影響評価の 4 つの柱からなる。プロジェクトメンバー（所内・所外委員）に加え、厚生労働省で統計や数理の実務に携わっている方々や民間企業のアクチュアリーなど専門家の方々に外部協力者として参加していただいていることも本プロジェクトの特色の一つである。初年度ではこのうち特に①～③の研究課題を中心として取り組んできたが、その研究成果を「第 1 報告書」として刊行する次第である。

本報告書は 3 部構成になっており、第 1 部（総論）では研究の概要を述べ、第 2 部（各論）には研究班員による個別論文を収録した。また、第 3 部には付属資料として、本年度の研究会においてご報告を頂いた、尾島俊之・浜松医科大学健康社会医学講座教授、橋本英樹・東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻教授、渋谷健司・東京大学大学院医学系研究科国際保健政策学教室教授による、研究報告のプレゼンテーション資料を収録した。

本研究プロジェクト実施に当たっては本研究所内外の多くの方々のご協力を得た。とりわけ本プロジェクトの研究会において有益なご教示をいただいた尾島俊之教授、渋谷健司教授、また、研究プロジェクトの遂行にご協力頂いた白石紀子氏に厚く御礼申し上げます。

2015年3月

国立社会保障・人口問題研究所

「長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の
経済社会構造に及ぼす人口学的影響に関する研究」

プロジェクト

(所内委員)

石井 太 (人口動向研究部長)

宮田 智 (政策研究調整官)

林 玲子 (国際関係部長)

別府志海 (情報調査分析部第2室長)

泉田信行 (社会保障応用分析研究部第1室長)

山本克也 (社会保障基礎理論研究部第4室長)

是川 夕 (人口動向研究部主任研究官)

(所外委員)

佐藤龍三郎 (中央大学客員研究員)

鈴木隆雄 (国立長寿医療研究センター研究所所長)

高橋重郷 (明治大学客員教授)

橋本英樹 (東京大学教授)

皆川友香 (上智大学助教)

堀内四郎 (ニューヨーク市立大学教授)

ジョン・ウィルモス (国連人口部長)

フランス・メレ (フランス国立人口研究所)

目 次

第 1 部 研究概要

長寿化・高齢化の総合的分析及びそれらが社会保障等の経済社会構造に及ぼす 人口学的影響に関する研究 ー第 1 報告書ー	3
--	---

第 2 部 研究論文

日本版死亡データベースの死因系列構築に関する研究	石井 太 ... 11
死因別死亡から見たわが国の高齢化について 死因別に見た長期時系列データ の必要性について	是川 夕 ... 29
寝たきり率の吟味と健康寿命の推移日本における 1970 年代からの動向	林 玲子 ... 43
日本の傷病別平均受療期間の推定	別府志海・高橋重郷 ... 61
高齢化・世帯構成の変化に対応した公的年金改革案の提示	山本克也 ... 83

第 3 部 資料（本年度研究会報告資料）

健康寿命に関する研究	尾島俊之 ... 105
医療システム評価とヘルスアウトカム統計をめぐる最近の動向について	橋本英樹 ... 131
Global Burden of Disease	渋谷健司 ... 137